

阿弥陀堂



●五百羅漢とは阿羅漢果を得た五百人の高僧をいう。阿羅漢とは小乗において悟りを極めた位をいう。当寺のお像はもと目黒羅漢寺の本堂に安置されていた数百躰のお像の一部で、松雲元慶が元禄4年(1691)から同8年(1695)頃までに造立したとされる。像高82.4~90.4cm。その作風は自然な姿態のなかに一種粘りのある表現を示すところなど、この時代の彫刻の中では様式技法両面で、異彩をはなっている。



本尊：阿弥陀如来
脇侍：観世音菩薩
地蔵菩薩

鬼念仏(左甚五郎作)
韋駄天神(スポーツ神)
東方朔

都指定有形文化財
五百羅漢坐像九躰
等奉安されています。

●この阿弥陀堂は、京都の二条城より移築されたもので、三層の建物は金閣寺を模したものとわれています。

当山オリジナルの
カード型

御守

大願成就

スポーツの守護神
韋駄天尊
(御影の御守です)



江戸札所
三十二番

祈願寺

世田谷観音

東京都世田谷区下馬4丁目9番4号
電話 (3410) 8811番

阿弥陀様
月例御縁日

8日 午後2時より
阿弥陀経読誦